



建築計画、構造計画及び設備計画について、次の要点等を具体的に記述する。  
なお、要求図面では表せない計画についても記述する。

(1)「展示関連諸室」と「アトリエ関連諸室」のゾーニングについて考慮したこと

利用目的の異なる動線が交錯しないように、展示関連諸室(目的展示室除く)は2階に、アトリエ関連諸室は3階に配置するゾーニングで計画した。目的展示室は不特定多数の利用者も多いと見込まれるため、1階に配置し、利便性に配慮した。

(2)展示物等の移動に配慮した、荷解き室の搬入口から各展示室までの動線について考慮したこと

荷解き室から近い位置に管理用の階段及び人荷用エレベーターを設け、展示物が移動しやすいように配慮した。展示室までの廊下は、管理ゾーンも含め、壁の花やマスキングの配置を確保すること、展示物の移動しやすさに配慮した。

(3)分館と本館との来館者の動線について考慮したこと

本館側の北東部にXインプローチを設けるとともに、東側に本館に向けたサブアプローチを設けると、来館者が相互に行き来しやすくなるように配慮した。

(4)展示室A及びBについて、特記事項を踏まえたそれぞれの「室の設え」について考慮したこと

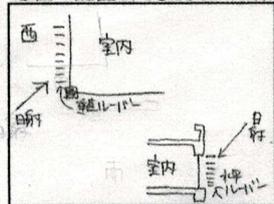
A: 彫刻の展示があるため、日照や採光を確保できるように南面と東面の二面採光とし、開口部を大きく計画した。

B: 外壁面には窓を設けず、外部の景色を遮断して工照明で計画すること、映像や音響等の作品の展示に配慮した。内装には、遮音性能の高く下地が木目材で計画した。

(5)吹抜け及びその周囲の空間において、多くの自然光を取り入れるために平面・断面計画や開口部について工夫したこと

吹抜の上部にトリアライトを設けること、天空光を確保し、暗がりからの建物中央部に自然光を取り入れられるように計画した。3階の屋上庭園と隣接させ、境界をガラスで計画すること、トリアライト付近に広く開口部から自然光を取り入れられるように計画した。

(6)公園への眺望(西面及び南面)や自然採光を確保しつつ、冷暖房時の日照負荷抑制を図るために窓面の配置と大きさ及び日射遮蔽手法等について工夫したこと(Low-Eガラスの工夫除く)

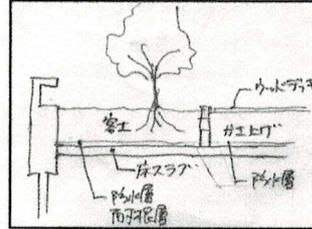


西面 西日を遮蔽するために、可動式の垂直ルーバーを窓ガラス面に設けること、室内への日射を低減させ、冷房負荷を削減した。

南面 南面の直射日光を遮蔽するために、可動式の水平ルーバーを窓ガラス面に設けること、室内への日射を低減させ、冷房負荷を削減した。

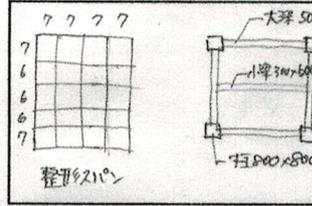
※要点・図面・エスキースの裏面には念のため、氏名のお書き添えください。  
製図試験comIDのない方はIDは空欄をお願いします。受験番号とかは書かないようにしてください。  
サイトアップ不可の方はサイトアップ不可の部分にチェックをお願いします。

(7)屋上庭園【出口・通路及び客土範囲】における断面の構造等計画(梁断面、スラブ位置・厚さを決定したときの考え方、バリアフリーの考え方及び防水の考え方)について考慮したこと



梁断面、スラブ位置・厚さ 庭園内の通路と客土の上端とを同一レベルにするために、屋上庭園のスラブラスを700mm下げ2階とした。(客土500mm+防水材料厚200mm=700mm)  
バリアフリーの考え方 屋上庭園のスラブラスを下げ、防水層、排水層を設け、仕上げにウレタン系を敷きつめること、室内外の段差を処理し、バリアフリーに配慮した。  
防水の考え方 改質アスファルトフェンクを設け、上層に排水層、防水層、透水性層を計画すること、防水層が植栽や外観に与り劣化しないように配慮した。

(8)建築物の構造種別・架構形式・スパン割りについて考慮したこと及び主要な部材の断面寸法

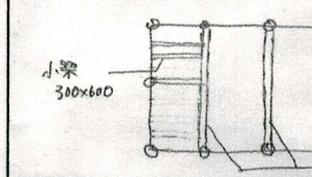


耐火性や耐震性、経済性等に配慮し、本館第4階に柱間と窓を4mの分割コンクリート造で計画した。窓が自由に設けられる等、平面計画の自由度に配慮し、柱間・窓間寸法は、6mと7mの整数で経済的に計画した。  
大梁は、500mm×800mm、柱は800mm×800mm、スラブラスは厚さ200mm、小梁は300mm×600mmとした。

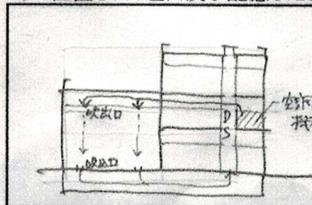
(9)多目的展示室の構造計画(柱、梁、床、天井、スパン等)について特に考慮したこと及び部材の断面寸法

無柱空間とするために、SRC柱より梁は600x900と、SRC柱よりモルタル耐火性に優れた、ポストテンション方式のプレキャストコンクリート梁で計画した。PC梁は経済性に配慮し、600x900で計画した。PC梁に直交し300x600のRC造の小梁を設け、天井スパンのために配慮した。

部材の断面寸法(柱、大梁、小梁、床等)の図示



(10)多目的展示室の空調用吹出口の設置位置(床、壁、天井、幅木)を一つ以上選択し、その位置とした理由及び配慮したこと



天井高が高い大型空間を効率的に空調するために、天井面に自由流タイプの吹出口を設け、自然対流による空調できるように配慮した。吹出口を床面に設けること、空調空気のショートカットが発生しないように配慮した。

サイトアップ不可 □